

**稚内市男女共同参画市民意識調査
結果報告書**

令和6年1月

稚内市

目 次

I 市民意識調査の概要	1
1 調査の概要	
2 調査結果の表示について	
II 意識調査集計結果	2
・あなた自身のことについて	2
（問1）性別	
（問2）年齢	
（問3）職業	
（問4）結婚	
（問4-1）配偶者の職業	
（問5）結婚についての考え方	
（問6）離婚についての考え方	
（問7）子育ての経験	
（問8）世帯構成	
・男女平等意識について	6
（問9）男女平等参画の言葉の認知度	
（問10）男女の地位	
（問11）男女の処遇機会の平等を確保するために必要なこと	
・家庭生活について	9
（問12）家事や子育て、介護の担い手	
（問13）夫婦の役割や子育てに関する考え方	
・社会活動・地域活動について	12
（問14）参加したことがある活動（仕事・家庭生活以外）	
（問14-1）参加したことがない理由	
（問15）性別により活動を断念した経験	
（問15-1）断念した活動及び理由	
・教育について	14
（問16）男女共同参画社会を実現するために小・中学校で取り組む必要があること	
・就労について	15
（問17）女性が職業を持つこと、持ち続けること	
（問18）女性の働きやすさ	

(問 18-1) 働きやすいと思われる理由	
(問 18-2) 働きづらいと思われる理由	
(問 19) よりよく暮らしていくために必要な環境整備	
・「少子・高齢化」について	18
(問 20) 少子化の理由	
(問 21) 少子化を解決するために重要なこと	
(問 22) 本市での出産・子育て	
(問 22-1) 出産・子育てをしたい・したくない理由	
(問 23) 本市の子育て環境	
(問 24) 自分の老後への不安	
(問 24-1) 老後への不安の理由	
(問 24-2) 老後の生活を充実したものにするために必要なこと	
・人権・男女間の暴力について	23
(問 25) 女性の人権が尊重されていないと思うこと	
(問 26) DV被害の経験（家族や友人）及び認知度	
(問 27) DV被害の経験（本人）	
(問 27-1) DVの被害内容	
(問 27-2) DV被害を受けたときの相談	
(問 27-3) 相談先	
(問 27-4) 相談しなかった理由	
(問 27-5) 男女間の暴力をなくすために必要なこと	
(問 27-6) DVに関する相談窓口の認知度	
・女性の政策参画について	26
(問 28) 女性の意見の反映度（職場・地域社会・政治の場）	
(問 29) 女性が進出していくために必要なこと（職場・地域社会・政治の場）	
(問 30) 男女共同参画社会の実現のために行政が取り組む必要があること	
・その他	29
(問 31) 男女共同参画についての考えやご意見（自由記述）	

市民意識調査の概要

1 調査の概要

◆調査の目的

稚内市における男女を取り巻く様々な課題について、市民の意識や実態を把握するとともに、「第4次稚内市男女共同参画行動計画(令和6年度～令和10年度)」策定に向けての基礎資料とするために実施しました。

◆調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	稚内市に居住する18歳以上の男女2,000人
抽出方法	住民基本台帳名簿による年齢別無作為抽出
実施主体	稚内市
調査の配布・回収	郵送による配布・回収またはWEB回答フォーム
調査期間	令和5年5月15日(月)～令和5年5月31日(水)

◆回収結果

有効回収数	585件
有効回収率	29.3%

2 調査結果の表示について

- ・この結果報告書に掲載している数値は四捨五入の端数処理をしているため、合計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- ・属性(性別)無回答であった人の回答は、全体集計には含んでいますが、属性ごとの集計には含んでいません。
- ・複数回答(選択肢を複数選べる設問)となっている設問の数値は、各選択肢を何%の人が選んだかを表します。

男女共同参画市民意識調査集計結果

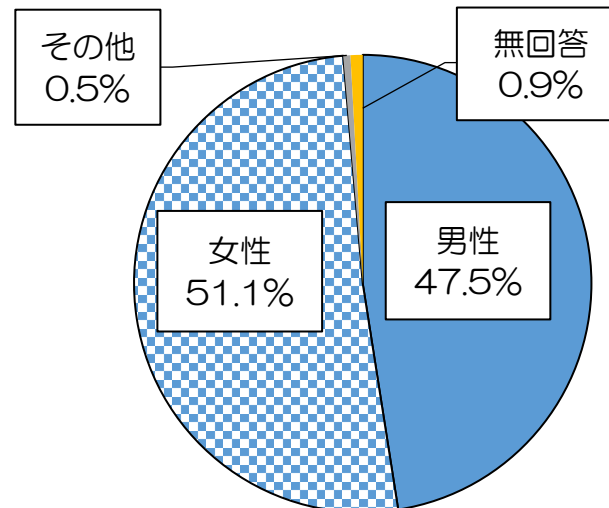
回答者数 585人 回答率 29.3% (アンケート送付者数 2,000人)

あなた自身のことについて

【問1】性別

回答者の51.1%が女性となっています。

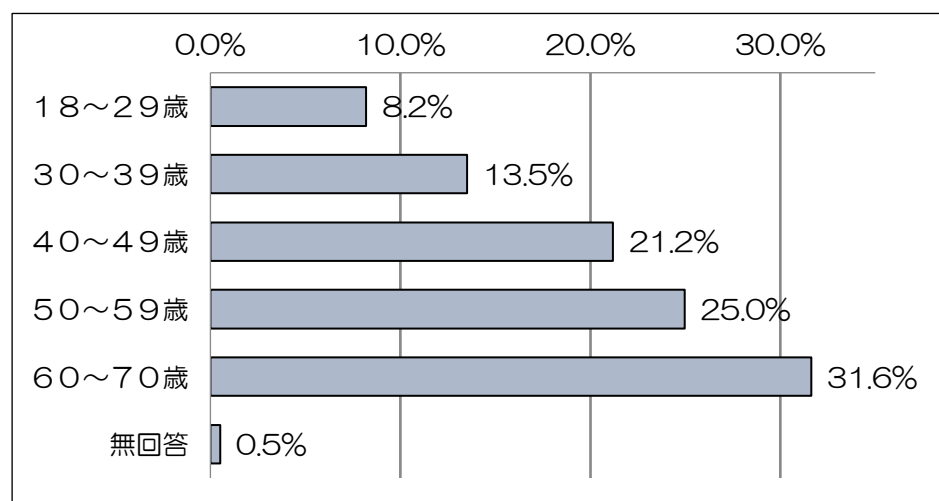
選択肢	回答数	割合
男性	278人	47.5%
女性	299人	51.1%
その他	3人	0.5%
無回答	5人	0.9%
合計	585人	100.0%



【問2】年齢

60~70歳の回答者が最も多くなっています。

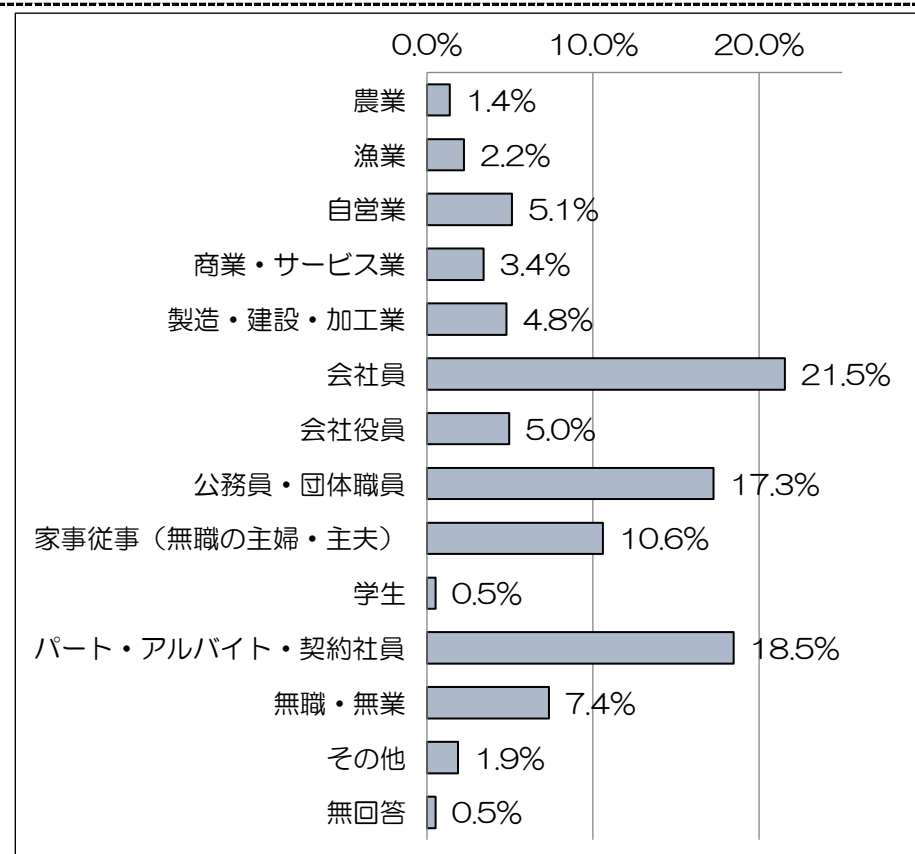
選択肢	回答数	割合
18~29歳	48人	8.2%
30~39歳	79人	13.5%
40~49歳	124人	21.2%
50~59歳	146人	25.0%
60~70歳	185人	31.6%
無回答	3人	0.5%
合計	585人	100.0%



【問3】職業

回答者の21.5%が「会社員」で最も多く、これに「パート・アルバイト・契約社員」が続いています。

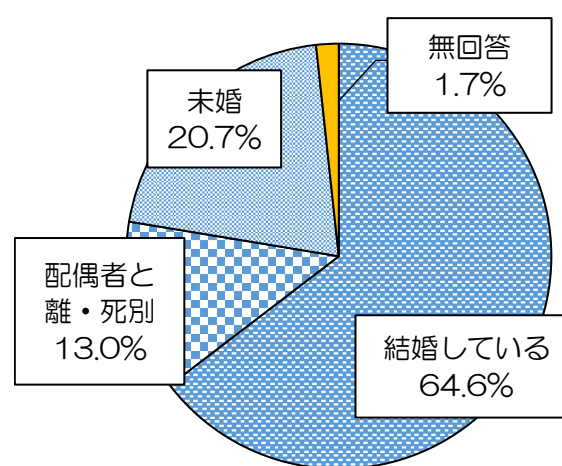
選択肢	回答数	割合
農業	8人	1.4%
漁業	13人	2.2%
自営業	30人	5.1%
商業・サービス業	20人	3.4%
製造・建設・加工業	28人	4.8%
会社員	126人	21.5%
会社役員	29人	5.0%
公務員・団体職員	101人	17.3%
家事従事(無職の主婦・主夫)	62人	10.6%
学生	3人	0.5%
パート・アルバイト・契約社員	108人	18.5%
無職・無業	43人	7.4%
その他	11人	1.9%
無回答	3人	0.5%
合計	585人	100.0%



【問4】あなたは現在、結婚されていますか。

「結婚している」が64.6%となっています。

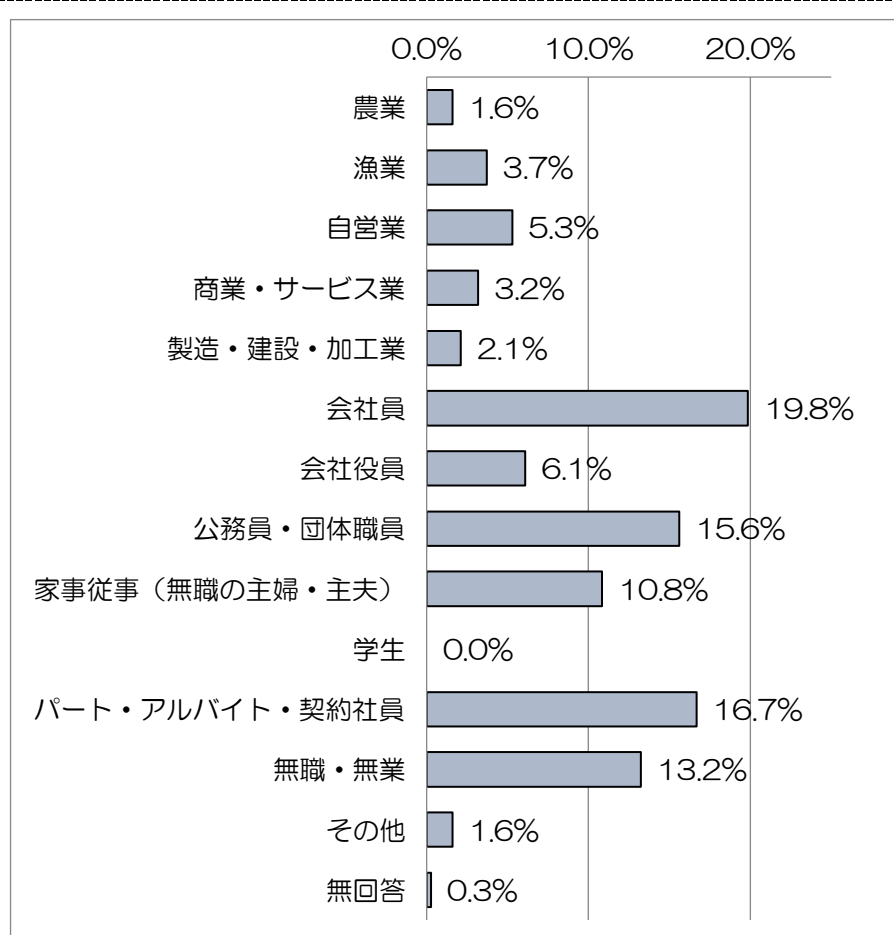
選択肢	回答数	割合
結婚している	378人	64.6%
配偶者と離・死別	76人	13.0%
未婚である	121人	20.7%
無回答	10人	1.7%
合計	585人	100.0%



【問4-1】配偶者の職業

回答者の19.8%が「会社員」で最も多く、これに「パート・アルバイト・契約社員」が続いています。

選択肢	回答数	割合
農業	6人	1.6%
漁業	14人	3.7%
自営業	20人	5.3%
商業・サービス業	12人	3.2%
製造・建設・加工業	8人	2.1%
会社員	75人	19.8%
会社役員	23人	6.1%
公務員・団体職員	59人	15.6%
家事従事（無職の主婦・主夫）	41人	10.8%
学生	0人	0.0%
パート・アルバイト・契約社員	63人	16.7%
無職・無業	50人	13.2%
その他	6人	1.6%
無回答	1人	0.3%
合計	378人	100.0%



【問5】結婚についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「結婚する、しないは個人の自由であるからどちらでもよい」が63.2%となっています。

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
結婚した方がいい	129人	22.1%	27.7%	16.1%	33.3%
経済的に独立し生活できるのであれば、結婚しなくても良い	38人	6.5%	4.7%	8.4%	0.0%
結婚する、しないは個人の自由であるからどちらでもよい	370人	63.2%	59.7%	67.9%	0.0%
その他	7人	1.2%	1.8%	0.7%	0.0%
無回答	41人	7.0%	6.1%	7.0%	66.7%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■その他への記入事項

- ・結婚は人生の難関
- ・知的障害なので結婚していません。親も結婚しなさいと言わない
- ・子育てをするのであれば結婚した方がいい

(問5で「結婚した方がいい」と回答した方だけお答えください)
その理由について、あてはまるものを1つ選んでください。

「子どもが欲しいから」が最も多く28.7%となっています。

選 択 肢	回答数	割合
結婚することが普通だから	16人	12.4%
一人前になるため	11人	8.5%
子どもが欲しいから	37人	28.7%
それが人としての幸せだから	31人	24.0%
世間体があるから	1人	0.8%
経済的に自立していないから	1人	0.8%
なんとなく	5人	3.9%
その他	27人	20.9%
無回答	0人	0.0%
合 計	129人	100.0%

■その他への記入事項

- ・好きな人ができたら是非結婚して欲しい
- ・家族が増える尊さ
- ・大切な人ができたから
- ・一緒に生きていきたいから
- ・本当に好きになった人と人生をともにしたいから
- ・楽しいから
- ・家族という事がお互い支え合っていけるから
- ・縁あれば結婚するべき
- ・孫が欲しい
- ・生きている意味（理由）であるから
- ・子供を産むことが日本の経済を救うため
- ・少子化なので
- ・結婚し、子を産み育て、社会人として自立させる事が世界の維持平和に繋がるから
- ・社会人としての義務、国家の繁栄
- ・各々が結婚して子どもを作らないと少子化は進むばかりだから
- ・社会活動の根幹である「継続性」の担保として必要な制度であり、また、社会や命を継続するに足る制度が現時点で存在しないから
- ・他人と一緒に責任をもって暮らしていく経験は必要だと思うから
- ・いいも悪いも経験した方がよい
- ・人生の中で気付きや我慢をしたり、色々な経験をして人として成長した方がよい
- ・人としていろいろ思いやりが持てる（子供等を含む）
- ・経済的に独立し、生活できるなら結婚したほうがよい
- ・定年後の生活を考えて
- ・現在の制度に合っている
- ・親がいなくなったあと一人は心配
- ・家族がいた方が有事の際に相談や対応がしやすいから
- ・配偶者に非常事態が起きた時にちゃんと連絡が来る（婚姻関係がなければ、他人扱いされてしまう）

【問6】離婚についてどう思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「それぞれの事情があつてのことなのでなんともいえない」が最も多く54.9%となっています。

選 択 肢	回答数	割合
夫婦は決して離婚すべきではない	12人	2.1%
子どもがいれば離婚すべきではないが、子どもがいなければ離婚してもかまわない	24人	4.1%
経済的に独立し生活できるのであれば離婚してもかまわない	23人	3.9%
互いに納得できれば離婚してもかまわない	169人	28.9%
それぞれの事情があつてのことなのでなんともいえない	321人	54.9%
わからない	19人	3.2%
その他	5人	0.9%
無回答	12人	2.1%
合 計	585人	100.0%

■その他への記入事項

- ・人それぞれの人生なので他人が口に出す事では無い
- ・なんともいえないが、子供のことを第一優先としてほしい
- ・自由（2件）

【問7】子育ての経験はありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「ある」が67.9%となっています。

選 択 肢	回答数	割合
ある	397人	67.9%
ない	177人	30.3%
無回答	11人	1.9%
合 計	585人	100.0%

【問8】世帯構成について、あてはまるものを1つ選んでください。

「夫婦世帯」が最も多く、31.1%となっています。

選 択 肢	回答数	割合
単身世帯	127人	21.7%
夫婦世帯	182人	31.1%
夫婦と子どもの世帯（2世代）	176人	30.1%
親・子・孫3代にわたる世帯（3世代）	35人	6.0%
その他	56人	9.6%
無回答	9人	1.5%
合 計	585人	100.0%

男女平等意識について

【問9】「男女共同参画」という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「言葉も内容も知っている」が最も多く、38.5%となっています。

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
言葉も内容も知っている	225人	38.5%	45.7%	32.1%	66.7%
言葉を知っているが内容までは知らない	222人	37.9%	34.2%	41.5%	33.3%
言葉も内容も知らない	132人	22.6%	19.4%	25.4%	0.0%
無回答	6人	1.0%	0.7%	1.0%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【問10】男女の地位は平等になっていると思いますか。
それぞれあてはまる数字を1つ選んでください。

「平等である」が最も多かったのは③で47.7%となっています。
④では3割程度、①②⑥では2割程度、⑤⑦では1割程度となっています。
③以外の項目において、「男性がかなり優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答している割合が多くなっています。

①家庭生活

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 男性がかなり優遇されている	78人	13.3%	9.4%	17.1%	33.3%
2. どちらかといえば男性が優遇されている	232人	39.7%	34.5%	44.8%	33.3%
3. 平等である	125人	21.4%	29.1%	14.7%	0.0%
4. どちらかといえば女性が優遇されている	32人	5.5%	7.6%	3.3%	0.0%
5. 女性がかかなり優遇されている	6人	1.0%	1.8%	0.3%	0.0%
6. どちらともいえない	66人	11.3%	9.7%	12.7%	33.3%
7. わからない	39人	6.7%	5.8%	7.0%	0.0%
無回答	7人	1.2%	2.2%	0.0%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②職場

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 男性がかかなり優遇されている	94人	16.1%	12.9%	18.7%	66.7%
2. どちらかといえば男性が優遇されている	230人	39.3%	36.7%	42.1%	33.3%
3. 平等である	117人	20.0%	24.5%	16.4%	0.0%
4. どちらかといえば女性が優遇されている	23人	3.9%	5.4%	2.3%	0.0%
5. 女性がかかなり優遇されている	11人	1.9%	3.6%	0.3%	0.0%
6. どちらともいえない	52人	8.9%	8.6%	9.4%	0.0%
7. わからない	46人	7.9%	5.8%	9.4%	0.0%
無回答	12人	2.1%	2.5%	1.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③学校教育の場

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 男性がかかなり優遇されている	14人	2.4%	1.8%	2.7%	0.0%
2. どちらかといえば男性が優遇されている	76人	13.0%	12.6%	13.4%	33.3%
3. 平等である	279人	47.7%	50.7%	45.8%	0.0%
4. どちらかといえば女性が優遇されている	14人	2.4%	3.2%	1.7%	0.0%
5. 女性がかかなり優遇されている	5人	0.9%	1.4%	0.3%	0.0%
6. どちらともいえない	66人	11.3%	9.7%	12.4%	66.7%
7. わからない	118人	20.2%	17.6%	22.4%	0.0%
無回答	13人	2.2%	2.9%	1.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④地域活動の場（町内会など）

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 男性がかなり優遇されている	35人	6.0%	3.6%	8.0%	33.3%
2. どちらかといえば男性が優遇されている	142人	24.3%	22.3%	26.1%	33.3%
3. 平等である	171人	29.2%	35.6%	23.7%	0.0%
4. どちらかといえば女性が優遇されている	18人	3.1%	4.7%	1.7%	0.0%
5. 女性がかかなり優遇されている	7人	1.2%	1.8%	0.7%	0.0%
6. どちらともいえない	75人	12.8%	10.8%	14.7%	33.3%
7. わからない	127人	21.7%	18.7%	24.4%	0.0%
無回答	10人	1.7%	2.5%	0.7%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤政治の場

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 男性がかかなり優遇されている	218人	37.3%	31.3%	43.1%	66.7%
2. どちらかといえば男性が優遇されている	204人	34.9%	38.5%	31.8%	0.0%
3. 平等である	58人	9.9%	13.7%	6.7%	0.0%
4. どちらかといえば女性が優遇されている	4人	0.7%	0.7%	0.3%	33.3%
5. 女性がかかなり優遇されている	3人	0.5%	1.1%	0.0%	0.0%
6. どちらともいえない	34人	5.8%	5.8%	6.0%	0.0%
7. わからない	57人	9.7%	7.2%	11.7%	0.0%
無回答	7人	1.2%	1.8%	0.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥法律や制度上

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 男性がかかなり優遇されている	89人	15.2%	8.6%	21.1%	66.7%
2. どちらかといえば男性が優遇されている	172人	29.4%	28.8%	30.1%	0.0%
3. 平等である	131人	22.4%	30.6%	15.4%	0.0%
4. どちらかといえば女性が優遇されている	25人	4.3%	5.8%	3.0%	0.0%
5. 女性がかかなり優遇されている	12人	2.1%	4.0%	0.3%	0.0%
6. どちらともいえない	59人	10.1%	9.4%	10.7%	33.3%
7. わからない	85人	14.5%	10.8%	17.7%	0.0%
無回答	12人	2.1%	2.2%	1.7%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦社会通念・慣習・しきたり

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 男性がかかなり優遇されている	140人	23.9%	16.9%	30.8%	33.3%
2. どちらかといえば男性が優遇されている	252人	43.1%	47.1%	39.1%	66.7%
3. 平等である	52人	8.9%	12.9%	5.4%	0.0%
4. どちらかといえば女性が優遇されている	10人	1.7%	2.9%	0.7%	0.0%
5. 女性がかかなり優遇されている	6人	1.0%	2.2%	0.0%	0.0%
6. どちらともいえない	47人	8.0%	7.9%	8.4%	0.0%
7. わからない	69人	11.8%	7.9%	15.1%	0.0%
無回答	9人	1.5%	2.2%	0.7%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【問11】 今後、男女が社会のあらゆる分野に参画し、対等に処遇される機会の平等を確保するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまるものを3つまで選んでください。

「家庭と仕事を両立できるような職場のシステムづくり」が最も多く、50.6%となっています。

選択肢	回答数	割合
法律や制度の見直し	161人	27.5%
家庭や学校で、男女平等についての教育内容を充実	98人	16.8%
職場内での男女平等処遇の徹底	118人	20.2%
家庭と仕事を両立できるような職場のシステムづくり	296人	50.6%
地域活動や社会活動への参画を支援するための環境の整備	32人	5.5%
企業や行政などの重要な役割に女性を登用	62人	10.6%
個人の自覚と知識・能力の向上	150人	25.6%
男女を取り巻く様々な偏見、社会通念やしきたり、慣習の見直し	220人	37.6%
女性の政治・職場・社会活動への積極的な参画	51人	8.7%
女性の経済力の向上	137人	23.4%
女性の就業を支援する施設やサービスの充実	89人	15.2%
その他	20人	3.4%
特になし	25人	4.3%
無回答・回答過多	45人	7.7%

■その他への記入事項

- ・男女、お互いがわかりあえること
- ・逆差別もなくすこと
- ・外見差別を無くしていく取り組み（男女とも）
- ・男性側の意識・考え方の改革。男性（夫）が家庭と子育てを両立できるような職場のシステムづくり
- ・男性は女性を見下さないようにしたほうがよい
- ・アファーマティブアクション
- ・男性の育児休暇推奨、職場・組織のトップの理解
- ・男女の身体的、物理的な差を制度で埋めることを、是とするか非とするかが問題。平等にするために片方にだけ政策を作ることでもまた不平等。ただ、人数差があまりにもある部分(政治家や会社役員など)については数値を平準化すべき
- ・男女があらゆる分野で平等に参画する必要性を感じない。場面場面でどちらかが秀でているケースが多々あるので、状況や得手不得手を考慮した上で結果的に平等になればいいことだと考えます
- ・母子家庭、父子家庭、介護家庭の充実
- ・男女以外の属性への偏見の是正も含めた教育。広報
- ・男女共に使える子育てなどに対する施設やサービスの充実
- ・そもそも男女共同参画の必要性が認められない。国がおしつける（推進する）必要性が感じられない
- ・声の大きい人間の声だけを取り上げる
- ・あらゆる分野で平等になるのは不可能
- ・選択的夫婦別姓の導入

家庭生活について

【問12】あなたの家庭では、家事は主にどなたが担われていますか。
それぞれあてはまる数字を1つ選んでください。

①②③④⑤⑦の項目において、女性の7割以上が「自分が担っている」と回答しており、
男性は①②④⑤⑦の項目において、「配偶者（妻）が担っている」と回答している割合が最も多い。

①食事の支度

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	305人	52.1%	23.4%	78.6%	100.0%
2. 配偶者が担っている	134人	22.9%	47.5%	0.3%	0.0%
3. 親が担っている	48人	8.2%	10.1%	6.7%	0.0%
4. その他の人が担っている	6人	1.0%	1.1%	1.0%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	77人	13.2%	13.3%	13.0%	0.0%
無回答	15人	2.6%	4.7%	0.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②食事の後片付け

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	295人	50.4%	28.4%	70.9%	66.7%
2. 配偶者が担っている	102人	17.4%	31.3%	4.7%	0.0%
3. 親が担っている	27人	4.6%	7.2%	2.3%	0.0%
4. その他の人が担っている	6人	1.0%	1.1%	1.0%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	135人	23.1%	26.3%	20.1%	33.3%
無回答	20人	3.4%	5.8%	1.0%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③食料品や日用品の買い物

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	289人	49.4%	25.2%	72.2%	33.3%
2. 配偶者が担っている	85人	14.5%	28.1%	2.0%	0.0%
3. 親が担っている	31人	5.3%	7.2%	3.7%	0.0%
4. その他の人が担っている	3人	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	159人	27.2%	33.8%	20.7%	66.7%
無回答	18人	3.1%	5.8%	0.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④洗濯

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	293人	50.1%	24.1%	74.2%	66.7%
2. 配偶者が担っている	123人	21.0%	41.4%	2.3%	0.0%
3. 親が担っている	39人	6.7%	10.1%	3.7%	0.0%
4. その他の人が担っている	4人	0.7%	0.0%	1.3%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	110人	18.8%	20.1%	17.4%	33.3%
無回答	16人	2.7%	4.3%	1.0%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤掃除

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	295人	50.4%	27.0%	71.6%	100.0%
2. 配偶者が担っている	95人	16.2%	32.0%	1.7%	0.0%
3. 親が担っている	23人	3.9%	6.8%	1.3%	0.0%
4. その他の人が担っている	5人	0.9%	0.7%	1.0%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	151人	25.8%	29.1%	23.4%	0.0%
無回答	16人	2.7%	4.3%	1.0%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥ゴミ出し

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	281人	48.0%	47.1%	48.5%	66.7%
2. 配偶者が担っている	105人	17.9%	12.2%	23.4%	0.0%
3. 親が担っている	38人	6.5%	6.1%	7.0%	0.0%
4. その他の人が担っている	12人	2.1%	1.1%	3.0%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	131人	22.4%	28.1%	17.4%	33.3%
無回答	18人	3.1%	5.4%	0.7%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦家計の管理

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	314人	53.7%	32.7%	72.9%	66.7%
2. 配偶者が担っている	130人	22.2%	39.2%	6.4%	33.3%
3. 親が担っている	40人	6.8%	7.9%	6.0%	0.0%
4. その他の人が担っている	5人	0.9%	0.4%	1.3%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	72人	12.3%	14.0%	11.0%	0.0%
無回答	24人	4.1%	5.8%	2.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑧育児 ※該当する方のみ

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	69人	11.8%	2.5%	20.7%	0.0%
2. 配偶者が担っている	31人	5.3%	10.1%	0.7%	0.0%
3. 親が担っている	5人	0.9%	0.7%	1.0%	0.0%
4. その他の人が担っている	4人	0.7%	0.0%	1.0%	33.3%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	101人	17.3%	21.9%	12.7%	33.3%
無回答（非該当者含む）	375人	64.1%	64.7%	63.9%	33.3%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑨家族の介護 ※該当する方のみ

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 自分が担っている	40人	6.8%	1.8%	11.7%	0.0%
2. 配偶者が担っている	17人	2.9%	3.6%	2.0%	33.3%
3. 親が担っている	2人	0.3%	0.7%	0.0%	0.0%
4. その他の人が担っている	7人	1.2%	0.7%	1.7%	0.0%
5. 家族で役割分担し自分も一部を担っている	38人	6.5%	7.2%	5.4%	33.3%
無回答（非該当者含む）	481人	82.2%	86.0%	79.3%	33.3%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【問13】夫婦の役割や子育てに関する考え方について、
それぞれあてはまる数字を1つ選んでください。

全ての項目において、「そう思わない」が最も多くなっています。

①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. そう思う	18人	3.1%	5.4%	0.7%	33.3%
2. どちらかといえばそう思う	95人	16.2%	20.1%	12.4%	33.3%
3. どちらかといえばそう思わない	61人	10.4%	10.8%	10.0%	0.0%
4. そう思わない	285人	48.7%	43.2%	54.5%	33.3%
5. どちらともいえない	114人	19.5%	18.0%	21.1%	0.0%
無回答	12人	2.1%	2.5%	1.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②子どもは3歳くらいまで母親が家庭で育てるべきである

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. そう思う	70人	12.0%	15.1%	8.4%	33.3%
2. どちらかといえばそう思う	143人	24.4%	23.4%	25.4%	66.7%
3. どちらかといえばそう思わない	53人	9.1%	11.2%	7.0%	0.0%
4. そう思わない	209人	35.7%	34.2%	38.1%	0.0%
5. どちらともいえない	100人	17.1%	14.4%	19.7%	0.0%
無回答	10人	1.7%	1.8%	1.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. そう思う	59人	10.1%	16.5%	4.0%	33.3%
2. どちらかといえばそう思う	107人	18.3%	25.9%	11.0%	33.3%
3. どちらかといえばそう思わない	57人	9.7%	11.2%	8.0%	0.0%
4. そう思わない	233人	39.8%	28.4%	51.5%	0.0%
5. どちらともいえない	115人	19.7%	14.7%	24.1%	33.3%
無回答	14人	2.4%	3.2%	1.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

社会活動・地域活動について

【問14】 これまでに仕事・家庭生活以外で、どのような活動に参加したことがありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。

「町内会・子ども会・婦人会」が最も多く、47.7%となっています。

選択肢	回答数	割合
町内会・子ども会・婦人会	279人	47.7%
ボランティア活動	154人	26.3%
PTA活動	220人	37.6%
グループでの学習活動	41人	7.0%
グループでのスポーツ活動	136人	23.2%
グループでのスポーツ活動以外の趣味活動	73人	12.5%
住民運動	2人	0.3%
消費者運動、生活共同組合	6人	1.0%
宗教活動	13人	2.2%
労働組合、政治活動	62人	10.6%
国際交流活動	14人	2.4%
審議会、委員会などの公的活動	27人	4.6%
その他	5人	0.9%
参加しているものはない	156人	26.7%
無回答	11人	1.9%

(問14で「参加しているものはない」と回答した方だけお答えください)

【問14-1】 その理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

「興味・関心がないから」が最も多く、51.9%となっています。

選択肢	回答数	割合
仕事が忙しいから	65人	41.7%
家事・育児が忙しいから	13人	8.3%
家族の協力が得られないから	2人	1.3%
健康上の理由から	10人	6.4%
介護が忙しいから	0人	0.0%
情報が少ないから	29人	18.6%
活動する仲間がないから	29人	18.6%
興味・関心がないから	81人	51.9%
その他	13人	8.3%
無回答	5人	3.2%

■その他への記入事項

- ・声をかけられない
- ・求められていない
- ・他人と関わりたくないから
- ・外国人だから
- ・何をしたいかわからない
- ・参加して意義のある活動があまりない
- ・引っ越してきたばかりだから
- ・一時的に日本に仕事で来ているから
- ・機会がない(2件)

【問15】自分でやってみたいと思った活動に対し、自分の性別が壁となりそれをあきらめなければならなかった経験はありますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数	割合
ある	20人	3.4%
ない	538人	92.0%
無回答	27人	4.6%
合計	585人	100.0%

(問15で「ある」と回答した方だけお答えください)

【問15-1】それはどのような活動で、あきらめた理由はどのようなことでしたか。

・どのような活動ですか	・理由はなんですか
フィットネス	女性の参加者が多く、若い時参加しづらい感じがあった。※現在は積極的に参加しています
美容機器を使用しアピールする活動	女性しか立候補出来なかったため
部活動	野球部は男子しか入れないと言われた
札幌での就職	親に女の子だから心配で稚内市から出さないと言われた
仕事でのスキルアップの機会	「結婚したらやめるかもしれない。会社としては男をいかせる」と言われた
国際交流や遠方へのボランティア活動など	妊娠・出産を機に乳児を置いて出掛けなければいけない活動には参加し辛くなったため
野球少年団	女の子だからという理由で参加することができなかった
野球クラブ	当時男性ばかりのコミュニティだったから反対された

教育について

【問16】男女共同参画社会を実現するためには、小さい頃からの教育が大切であるといわれていますが、小学校・中学校で取り組む必要があると思うことはどのようなことですか。

あてはまるものを3つまで選んでください。

「学校での指導において、男女の別なく個性を活かせるように配慮する」が57.4%で最も多くなり、これに「男女平等の意識を育てる授業をする」が47.4%が続いています。

選択肢	回答数	割合
出席簿や並び方の順番など、男女を分ける慣習をなくす	118人	20.2%
学校での指導において、男女の別なく個性を活かせるように配慮する	336人	57.4%
教員に対して、男女共同参画に関する研修を充実する	144人	24.6%
男女平等の意識を育てる授業をする	277人	47.4%
人権に関する授業をする	266人	45.5%
保護者会などを通じ、男女平等教育を啓発する	71人	12.1%
その他	21人	3.6%
無回答・回答過多	30人	5.1%

■その他への記入事項

- ・教職員達の働く環境から変える必要がある。セクハラやモラハラなど、主に女性が被害者になりやすい現状がまだまだ改善されていない状態では、女性は弱者であるという男性の意識が消えていないと思う。まずはそこから変えるべき
- ・性の違いを無視した男女平等教育は男女平等じゃない
- ・男女の性を意識するのではなく、個人の能力等を見る
- ・妊娠した時から。生まれた子に対して個性を生かし、個人を尊重する考えで育てることを夫婦で意識すると良いのでは
- ・もともと体力も身体も違うので平等ではない。だからお互いが尊重し合うことが平等である
- ・型にはめるのではなく、あるがまま、ありのままに受け入れる寛容さを育てることが大切。「男女平等」の思想も形式化しており、その型にはめることもまた不平等を産むことを知るべき
- ・命や人に対する教育、現在の社会
- ・生徒が個性を尊重して認め合う教育をする（家庭・学校）
- ・現代に即した道徳教育を実施して、思いやりの心を育てる
- ・学校で男女差別をしているとは思えない
- ・小・中学校で経済を重点に社会で学ぶべきかと
- ・必要がない（3件）

就労について

【問17】女性が職業を持つこと、持ち続けることについてどのように思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

「結婚・育児等に関係なく職業を持ち続けるのが良い」が52.3%で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
女性は職業を持たない方が良い	2人	0.3%
結婚するまでは職業を持つ方が良い	16人	2.7%
出産するまでは職業を持つ方が良い	16人	2.7%
育児中は休業、子育て後に再就職するのが良い	103人	17.6%
結婚・育児等に関係なく職業を持ち続けるのが良い	306人	52.3%
わからない	79人	13.5%
その他	56人	9.6%
無回答	7人	1.2%
合計	585人	100.0%

■その他への記入事項

- ・本人の自由（38件）
- ・女性が職業を持つ事には賛成です。職種や育児、介護等の家庭の状況に応じて可能な生活を選択すればよいと思います
- ・男女関係なく、個人や家庭が望むとおりの人生を送れることが望ましい
- ・その人の就労意欲による。育休や再就職のサポートは必要
- ・新しい考えや働き方を見る為にどんどん女性、若者を雇用する
- ・育児中は休業、子育て後は希望があれば元の職場に戻る
- ・育児・子育て中は国や地方自治体が援助する（企業にも）
- ・働きたい人が働きたいときに、働きたい内容で働ければいい
- ・子供のことを第一に考え、問題ないなら職業を持ち続けても良い
- ・仕事やスキルや役職を持つことは大切だし賛成だが、子育ては何よりも優先されるべきと考える
- ・結婚するまでは、職業を持ち、その後は状況に応じて検討

【問18】今の社会は、女性が働きやすい状況にあると思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

「あまり働きやすいくない」が34.7%で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
働きやすい	12人	2.1%	3.2%	1.0%	0.0%
おおむね働きやすい	135人	23.1%	26.6%	19.7%	0.0%
あまり働きやすいくない	203人	34.7%	33.5%	36.1%	33.3%
働きづらい	91人	15.6%	12.6%	18.7%	0.0%
わからない	123人	21.0%	20.9%	20.7%	66.7%
その他	7人	1.2%	1.8%	0.7%	0.0%
無回答	14人	2.4%	1.4%	3.0%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■その他への記入事項

- ・男女の区別なく職業の選択ができる環境になってきている
- ・働きやすい環境にするのは大事だが、女性ばかりが焦点になるのは問題
- ・実力があれば働きやすい働きづらいなどない

(問18で「働きやすい」、「おおむね働きやすい」と回答した方だけお答えください)

【問18-1】働きやすいと思われる理由はどのようなことですか。

産休・育休等の制度や職場環境が充実してきているなどの意見が多く見受けられました。

■その他への記入事項

- ・女性が大多数を占める職場なので、女性目線での運営となるため
- ・新しい企業が男女分け隔てなく雇い、実力主義の社会になってきたため
- ・さまざまな業種で、男女問わず受入していると思う
- ・休暇が取りやすくなったと思う。賃金の差(男女間)がなくなって来たように感じる
- ・就業規則がしっかりしている
- ・社会的に女性が働きやすくなってきている
- ・どの職種においても、子育てや出産、体調を考慮した制度が整備されつつある
- ・育休が取りやすい
- ・働く日数、時間を選べる職場が増えている
- ・保育が充実している
- ・男女関係なく働き先がある
- ・保育料が無料になったため
- ・職場において、男性が優遇されているとは思わないため
- ・社員用休憩室やトイレが別になっていたりプライバシーに配慮されているから
- ・とくに働きづらいと思うことはない。これまで職場で、不平等さを感じたことはない
- ・勤務時間や休暇等、仕事と育児等を両立できる仕組みが整っていると感じるから
- ・ある程度男女共同参画の理解も浸透してきていると考えられるから

(問18で「あまり働きやすくない」、「働きづらい」と回答した方だけお答えください)

【問18-2】働きづらいと思われる理由はどのようなことですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

「家事・育児と仕事の両立が難しい」が76.2%で最も多くなっており、これに「働く場が限られている」が44.6%で続いています。

選択肢	回答数	割合
家事・育児と仕事の両立が難しい	224人	76.2%
家事・介護と仕事の両立が難しい	111人	37.8%
育児で退職後の再就職(正職員)が難しい	129人	43.9%
保育制度や施設が十分ではない	119人	40.5%
「男は仕事、女は家庭」という社会通念が強い	83人	28.2%
結婚、出産退職の慣行がある	56人	19.0%
育児休業が取れない、育児制度が整っていない	106人	36.1%
能力を正當に評価されない	66人	22.4%
性別によって昇進・給与・教育訓練に差がある	94人	32.0%
能力を発揮する場がない	32人	10.9%
働く場が限られている	131人	44.6%
職場や職場の周りの人々の理解が得にくい	94人	32.0%
家族の理解、協力が得にくい	37人	12.6%
セクシュアル・ハラスメント(性的な嫌がらせ)の被害にあうことがある	40人	13.6%
その他	7人	2.4%
無回答	5人	1.7%

■その他への記入事項

- ・男性が家事・育児をする事への偏見が強いと思う
- ・女性自身が結婚後正社員になることをあまり望んでいない。家庭にいたい人が多い
- ・男性の育休がとれない、とりにくい
- ・夫の転勤により仕事をやめざるをえなかった
- ・時間外労働をしないと仕事が回らない。家事育児にかかる時間がない

【問19】夫婦が仕事や家庭のバランスをとり、よりよく暮らしていくために必要な環境整備はどのようなことだと思いますか。

あてはまるものを3つまで選んでください。

「男女を問わず、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること」が46.3%で最も多くなっており、これに「育児・介護休業中の賃金の手当てなどの経済的支援を充実すること」が36.1%が続いています。

選択肢	回答数	割合
男女を問わず、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること	271人	46.3%
育児・介護休業中の賃金の手当てなどの経済的支援を充実すること	211人	36.1%
地域の保育所や学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容を充実する事	129人	22.1%
職場以内に保育施設を整備すること	55人	9.4%
在宅勤務やフレックスタイム制度などの柔軟な勤務制度を導入すること	103人	17.6%
残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること	68人	11.6%
子育てや介護などを理由にした退職した者を元の職場で再雇用する制度を導入すること	86人	14.7%
男性中心の職場運営を見直すこと	70人	12.0%
賃金や昇進などの男女間格差をなくすこと	75人	12.8%
パート、派遣・契約社員などの非正社員の労働条件を改善すること	136人	23.2%
職業上、必要な教育・訓練等の機会や内容を充実すること	17人	2.9%
男女がともに仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること	184人	31.5%
仕事や職場環境についての相談窓口を充実すること	12人	2.1%
その他	14人	2.4%
無回答・回答過多	50人	8.5%

■その他への記入事項

- ・夫の意識改善
- ・個人の意思を尊重した周囲の配慮
- ・相談窓口の改善（携帯や、スマホなど連絡もっていない）
- ・正社員やパートの区別をなくすこと
- ・子どもが急病になった時の職場の理解と協力があること
- ・育児、介護などの休業制度は公務員、一部企業でしか取れない社会の状況を改善する
- ・扶養内でしか働けない

「少子・高齢化」について

【問20】「少子化」の理由はどのようなことが原因だと思いますか。
あてはまるものをすべて選んでください。

「経済的に余裕がないから（育児や教育にお金がかかるなど）」が73.8%で最も多くなっており、これに「結婚しない人が増えたから」が58.5%が続いています。

選択肢	回答数	割合
経済的に余裕がないから（育児や教育にお金がかかるなど）	432人	73.8%
結婚しない人が増えたから	342人	58.5%
育児と仕事を両立させる社会的な仕組みが整っていないから	268人	45.8%
結婚年齢が上昇しているから	169人	28.9%
親となる人が子どもを取り巻く環境や将来に不安を持っているから	210人	35.9%
子どもを持つことよりも自分の趣味等を大切にしている人が増えているから	201人	34.4%
女性の心理的、肉体的負担が大きいから（出産、育児など）	138人	23.6%
出産の際の医療体制に不安があるから	43人	7.4%
少なく産んで、十分手をかけて育てたいという人が増えているから	65人	11.1%
家が狭いといった住宅事情や遊び場等の生活環境が悪いから	47人	8.0%
出産や育児に対する夫婦間の理解・協力が足りないから	82人	14.0%
子どもがほしくないと思う人が増えたから	132人	22.6%
その他	24人	4.1%
わからない	14人	2.4%
無回答	1人	0.2%

■その他への記入事項

- ・各地域の雇用の場の減少
- ・物価の高騰
- ・出会いが少ないから、相手への理想が高いから
- ・不妊治療を気軽に受けれる環境づくり
- ・結婚しなければならない、子を産まねばならないという固定観念がくずれてきたから
- ・家庭、家族をもつ事よりも、好きなように生きてい人間が増え、人の命よりも自分が大切に思っている人がふえたから
- ・コロナ禍もあり、そもそも若い人たちの出会いの場も少なくなった
- ・最たるものは経済的理由。次に社会環境や施設の不足、奨学金の返済などで結婚出産などが現実的ではない。結婚祝い金や出産祝金としてまとまったお金を配れば少子化は止まる。すぐ手を打つべき
- ・昔に比べ生活水準が向上し、生活費の使い方の変化
- ・企業がその後も継続して雇ってくれないのでは
- ・家庭を持つ事に損得感情を持つ考えが増えた結果

【問21】「少子化」を解決するために重要なことはどのようなことだと思いますか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

「勤務体制の整備（育児休業や短時間勤務など）や制度の拡充（育児休業中の身分や所得補償、育児後の再雇用などを図ること）」が48.0%で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
男女とも育児に参画するようになるために、社会全体の意識を改革すること	165人	28.2%
子どもの出産・育児手当などを充実させること	257人	43.9%
保育事業を整備すること（保育施設の整備や保育時間の延長など）	193人	33.0%
勤務体制の整備（育児休業や短時間勤務など）や制度の拡充（育児休業中の身分や所得補償、育児後の再雇用などを図ること）	281人	48.0%
育児支援ネットワークを整備・充実させること	58人	9.9%
出産・育児の楽しさ、すばらしさをアピールすること	39人	6.7%
安心して出産できるような医療体制を整備すること	85人	14.5%
女性が社会に進出しないこと	9人	1.5%
家計に余裕があること	243人	41.5%
その他	36人	6.2%
無回答・回答過多	37人	6.3%

■その他への記入事項

- 教育費、通院費を減らし家庭に負担をかけない
- 各地域に労働人口を増やすこと
- 男女の出会いの場（お見合いパーティー等）をつくること
- まず、結婚する人を増やすこと。又は、結婚しなくても子供を産める（偏見をなくす社会）ような社会
- 夫婦一方の就業だけで子どもを扶養できる収入が得られること。それが「普通」と言える国全体の経済環境に戻すこと
- 未婚の母への偏見をなくすこと
- 子ども達の未来に希望の持てる国づくり
- 不妊治療等を特別なものとせず、経済負担や通院等に伴う勤務体制の整備に社会全体が目を向けること
- 各家庭の収入を増やし、子どもの進学等の不安を解消する
- 地域の人と子どもの交流の機会を増やす
- 同性婚と養子のシステムを充実してもらえたら私も子育て参加できるのにな、とは思っています
- 若い人への賃金の充実。契約社員・非正規雇用を無くす。若い人が結婚できるよう経済不安を無くす
- 少子化による今後の影響をアピールする

【問22】本市で子どもを産み育てたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「どちらかといえば産み育てたい」が33.2%で最も多く、「産み育てたい」「どちらかといえば産み育てたい」の合計が5割強となっています。

選択肢	回答数	割合
産み育てたい	124人	21.2%
どちらかといえば産み育てたい	194人	33.2%
どちらかといえば産み育てたくない	135人	23.1%
産み育てたくない	72人	12.3%
無回答	60人	10.3%
合計	585人	100.0%

(問22を回答された方へお聞きします)

【問22-1】 そのように思われる理由はどのようなことですか。

(「産み育てたい」「どちらかといえば産み育てたい」と思う理由)

「産み育てたい」と回答された方は、地元だから、親・親戚がいるから、稚内が好きだから、自然豊かなまちだから、子育て環境が充実しているから等の理由が多く、また、特に理由はない、これまで育ててきたから、こどもを育てるのに地域は関係ないといった意見も多く見受けられました。

「どちらかといえば産み育てたい」と回答された方は、「産み育てたい」と同様の理由が多数ですが、医療に対する不安、交通アクセスに対する不安、教育・子育て支援体制に対する不安が多く記述されていることから、この選択肢となったと推測できます。

■主な理由

- ・自然が近くにあり、人が多くなくのびのび育てられる
- ・他の市よりも手当等が充実している
- ・稚内市は自分が生まれ育ち大好きな町なので
- ・地元なので、親や友達がいて相談したりできるから
- ・二人の子供を特別不自由もなく育てることができたので
- ・地域が子供を大切にしている為
- ・規模的にちょうど良いので
- ・幼稚園や学校に入りやすい
- ・子育てしてみて大変良かったからです。妊婦の内に友達ママさんができたことも大きくて、振り返ると産院のマタニティ教室、助産師さんも良かったです
- ・職場では産休、育休共にとりやすく、出産に関して理解がある方だと思うため
- ・子どもは産んだ方がいい。稚内市は子育てには手当が多いと思う。充実していると思う
- ・自然災害が少ない町だから
- ・支援センターが充実しているから

(「どちらかといえば産み育てたくない」「産み育てたくない」と思う理由)

「どちらかといえば産み育てたくない」「産み育てたくない」のどちらの回答においても、医療及び子育て環境への不安、働く環境への不安、交通体系の不便さ等のほか、人口減少に伴うまちの将来性への不安等が多く見受けられました。

■主な理由

- ・医療が充実していない
- ・子どもの遊ぶ場所など少ない
- ・生活環境が不便であるため
- ・保育施設が少ないと思う
- ・保育環境が整っていない。幼児教育が遅れている。特別支援高校への理解が進んでいない
- ・札幌圏までの距離がありすぎる為、文化、スポーツ、娯楽、教育に触れる機会が少ない。学力のレベルが低い
- ・特に男性の育児休業に対する理解が不足している
- ・子育てに対しての制度が充実していない
- ・もう少し手当など、シングルマザーでも安心して子供を産んで育てられる支援がほしい
- ・本市の制度がよくわからない
- ・不要な施設を建設すること
- ・子供に関する取り組みが、あまり充実していない。他の市町村でもっと手厚くやっている所が沢山ある
- ・手当が所得制限で受けられないことばかりだったので
- ・人口減少に伴い、スポーツ等の習い事の選択肢が少なくなっているから
- ・勤務体制の整備、制度の拡充
- ・公共交通機関が脆弱（JRの本数が少ない、交通系ICカードが使えない）

【問23】本市は子育てしやすい環境だと思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

「どちらかといえばしやすい環境だと思う」が43.1%で最も多く、「しやすい環境だと思う」
「どちらかといえばしやすい環境だと思う」の合計が5割程度となっています。

選 択 肢	回答数	割合
しやすい環境だと思う	33人	5.6%
どちらかといえばしやすい環境だと思う	252人	43.1%
どちらかといえばしにくい環境だと思う	162人	27.7%
しにくい環境だと思う	65人	11.1%
無回答	73人	12.5%
合 計	585人	100.0%

【問24】自分の老後について不安はありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

「ある」が85.0%となっています。

選 択 肢	回答数	割合
ある	497人	85.0%
ない	61人	10.4%
無回答	27人	4.6%
合 計	585人	100.0%

(問24で「ある」と回答された方へお聞きします)

【問24-1】それはどのようなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。

「介護が必要になったときのこと」が70.6%で最も多くなっており、これに「生活費のこと」が64.6%で
続いています。

選 択 肢	回答数	割合
働きたくても仕事がないこと	85人	17.1%
配偶者に先立たれた後の生活のこと	115人	23.1%
子どもや孫などと別居して孤独になること	61人	12.3%
介護が必要になったときのこと	351人	70.6%
友人・仲間とのつきあいのこと	26人	5.2%
適当な趣味がないこと	39人	7.8%
生活費のこと	321人	64.6%
健康のこと	278人	55.9%
住居のこと	110人	22.1%
その他	14人	2.8%
無回答	3人	0.6%

■その他への記入事項

- ・年金がちゃんと支払われるのか
- ・独身なので、自分が亡くなった後のいろいろな始末のこと（家やお墓など）が不安
- ・子供は成人して地方にいる。頼っては、子も不幸にしてしまうと思っている。大金があれば良い老人ホームに入るんですけども
- ・医療が整っていない

(問24で「ない」と回答された方へお聞きします)

【問24-2】老後の生活を安心して充実したものとするためには何が必要だと思いますか。

■必要だと思うこと

- ・資金、資産
- ・身近な人への愛
- ・健康
- ・今を楽しむというプラス思考
- ・周りの支援
- ・サービス付高齢者住宅が増えたらいいと思う。風華ほど介護が必要ではない人も入れるマンション
- ・挑戦する人生の楽しさ
- ・あれこれ考えすぎないこと
- ・計画的な生活設計
- ・同性のパートナーでも家族と同じようにせめて死に際に会えるような制度がほしいです（病院などで）
- ・車を手放した時に、買い物等の移動手段をなるべく金銭を使わなく移動出来れば…
- ・話し相手
- ・医療機関や老人施設、介護施設などを充実させること

人権・男女間の暴力について

【問25】「女性の人権が尊重されていない」と思うことがありますか。
あてはまるものをすべて選んでください。

「婚姻・戸籍や社会通念上の制度、慣習からくる差別」が39.5%で最も多く、これに「職場におけるセクシュアル・ハラスメント」が33.8%が続いています。

選 択 肢	回答数	割合
婚姻・戸籍や社会通念上の制度、慣習からくる差別	231人	39.5%
職場におけるセクシュアル・ハラスメント	198人	33.8%
女性に対するストーカー（つきまとい行為）、痴漢行為	184人	31.5%
女性であることを理由とした、伝統行事などへの参加制限	119人	20.3%
売春・買春（援助交際を含む）や女性の働く風俗営業	89人	15.2%
夫・恋人からの身体的・精神的な暴力	158人	27.0%
女性のヌード写真などを掲載した雑誌や広告	60人	10.3%
女性の容姿を競うミス・コンテスト	44人	7.5%
その他	21人	3.6%
無回答	104人	17.8%

■その他への記入事項

- ・リベンジポルノ
- ・トイレや更衣室、スポーツなど、身体の差による合理的な男女区分を無くすこと
- ・特になし

【問26】ドメスティック・バイオレンス（DV）を見聞きしたことはありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

「テレビや新聞などで見聞きしたことがある」が69.1%で最も多くなっています。

選 択 肢	回答数	割合
身近に当事者（被害者及び加害者）がいる	56人	9.6%
身近な人に相談を受けたことがある	48人	8.2%
テレビや新聞などで見聞きしたことがある	404人	69.1%
見聞きしたことはない	51人	8.7%
言葉も聞いたことがない	2人	0.3%
その他	11人	1.9%
無回答	13人	2.2%
合 計	585人	100.0%

■その他への記入事項

- ・雑誌
- ・自分が被害者

【問27】ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害にあったことがありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

「ある」が8.7%となっています。

選 択 肢	回答数	割合
ある	51人	8.7%
ない	512人	87.5%
無回答	22人	3.8%
合 計	585人	100.0%

(問27で「ある」と回答された方へお聞きします)

【問27-1】実際にどのような被害を受けましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

「身体的」が56.9%で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
身体的（例：殴られる・蹴られる・突き飛ばされるなど）	29人	56.9%
精神的（例：無視をされる・他人の前で欠点を言われる・脅かされるなど）	28人	54.9%
金銭的（例：生活費を渡してもらえない・家の金を持ち出される・無断で借金を作られるなど）	16人	31.4%
性的（例：望まない性行為を強要される・避妊に協力的ではないなど）	9人	17.6%
その他	5人	9.8%
無回答	0人	0.0%

【問27-2】ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害を受けたときに相談しましたか。

あてはまるものを1つ選んでください。

「相談しなかった」が68.6%となっています。

選択肢	回答数	割合
相談した	13人	25.5%
相談しなかった	35人	68.6%
無回答	3人	5.9%
合計	51人	100.0%

(問27-2で「相談した」と回答された方へお聞きします)

【問27-3】誰に相談しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

「知人・友人」が53.8%で最も多くなっており、これに「家族」が38.5%が続いています。

選択肢	回答数	割合
家族	5人	38.5%
知人・友人	7人	53.8%
市役所・宗谷総合振興局などの公的機関窓口	1人	7.7%
警察	2人	15.4%
民間の相談窓口	1人	7.7%
その他	2人	15.4%
無回答	0人	0.0%

■その他への記入事項

- ・医療機関

(問27-2で「相談しなかった」と回答された方へお聞きします)

【問27-4】相談しなかった理由はどのようなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。

「自分が我慢すればよいと思った」が45.7%で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
どこに相談すればよいのかわからなかった	5人	14.3%
相手(配偶者・恋人)に知られるのが怖かった	3人	8.6%
相談しても無駄だと思った	10人	28.6%
自分が我慢すればよいと思った	16人	45.7%
大げさにしたくなかった	5人	14.3%
相談するのが恥ずかしかった	1人	2.9%
余裕がなく、相談しようという考えが思い浮かばなかった	3人	8.6%
自分にも悪いところがあると思った	8人	22.9%
相談するほどでもないと思った	13人	37.1%
その他	6人	17.1%
無回答	1人	2.9%

■その他への記入事項

- ・幼かったため
- ・当時はDVという用語がなかった

【問27-5】男女間の暴力をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまるものをすべて選んでください。

「被害者が届け出をしやすいようにする」が61.9%で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
被害者の話をよく聞く(相談窓口の充実)	250人	42.7%
犯罪の取り締まりを強化する	240人	41.0%
法律・制度の制定や見直しを行う	236人	40.3%
被害者が届け出をしやすいようにする	362人	61.9%
過激な内容のDVD等の販売や貸し出しを制限する	64人	10.9%
男女平等や性についての教育を充実させる	122人	20.9%
暴力をふるう加害者へ教育カウンセリングを行う	173人	29.6%
暴力に反対する市民運動を盛り上げる	27人	4.6%
テレビや新聞、インターネットなどで倫理規定を強化する	91人	15.6%
DV(ドメスティック・バイオレンス)防止法について啓発する	124人	21.2%
その他	32人	5.5%
特に対策の必要はない	6人	1.0%
無回答	42人	7.2%

■その他への記入事項

- ・周囲が見て見ぬフリをしないような環境づくり
- ・体一つで逃げられる場所
- ・別れたいと思っても相手が別れてくれない時の対策の充実
- ・全ての人が満足して自分らしく暮らせる社会にしていける(全ての人が大切にされる社会)

【問27-6】ドメスティック・バイオレンス(DV)などの被害を受けている人たちの相談窓口が稚内市に設置されていることを知っていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

「知らない」が72.3%となっています。

選択肢	回答数	割合
知っている	136人	23.2%
知らない	423人	72.3%
無回答	26人	4.4%
合計	585人	100.0%

女性の政策参画について

【問28】現在、政治の場や職場、地域活動の場などで、女性の意見がどの程度反映されていると思いますか。それぞれあてはまる数字を1つ選んでください。

「十分に反映されている」「ある程度反映されている」の合計が5割を超えたのは①の1項目でした。

①職場で

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 十分に反映されている	74人	12.6%	15.5%	10.0%	0.0%
2. ある程度反映されている	227人	38.8%	37.8%	40.8%	0.0%
3. あまり反映されていない	105人	17.9%	17.6%	18.4%	0.0%
4. 全く反映されていない	17人	2.9%	3.6%	2.3%	0.0%
5. どちらともいえない	39人	6.7%	5.4%	7.4%	33.3%
6. わからない	100人	17.1%	15.1%	18.4%	66.7%
無回答	23人	3.9%	5.0%	2.7%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②地域社会で（町内会など）

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 十分に反映されている	31人	5.3%	7.2%	3.3%	0.0%
2. ある程度反映されている	190人	32.5%	34.5%	30.8%	33.3%
3. あまり反映されていない	90人	15.4%	16.9%	14.4%	0.0%
4. 全く反映されていない	11人	1.9%	2.9%	1.0%	0.0%
5. どちらともいえない	46人	7.9%	6.1%	9.4%	0.0%
6. わからない	196人	33.5%	27.7%	38.8%	66.7%
無回答	21人	3.6%	4.7%	2.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③市や北海道の政治の場で

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 十分に反映されている	14人	2.4%	4.0%	1.0%	0.0%
2. ある程度反映されている	154人	26.3%	32.0%	21.7%	0.0%
3. あまり反映されていない	143人	24.4%	24.5%	24.7%	33.3%
4. 全く反映されていない	26人	4.4%	5.0%	3.3%	0.0%
5. どちらともいえない	51人	8.7%	7.2%	9.7%	33.3%
6. わからない	178人	30.4%	23.4%	37.1%	33.3%
無回答	19人	3.2%	4.0%	2.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④国の政治の場で

選択肢	回答数	割合	男性	女性	その他
1. 十分に反映されている	14人	2.4%	4.3%	0.7%	0.0%
2. ある程度反映されている	126人	21.5%	26.3%	17.7%	0.0%
3. あまり反映されていない	171人	29.2%	28.8%	30.1%	33.3%
4. 全く反映されていない	49人	8.4%	9.0%	7.4%	0.0%
5. どちらともいえない	42人	7.2%	6.8%	7.0%	33.3%
6. わからない	164人	28.0%	20.9%	34.8%	33.3%
無回答	19人	3.2%	4.0%	2.3%	0.0%
合計	585人	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【問29】 今後そのような場にもっと女性が進出していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。
あてはまるものを3つまで選んでください。

「男性中心の組織のあり方を改めること」が46.0%で最も多くなっています。

選択肢	回答数	割合
「男性は主、女性は従」という性別で役割を決める考え方を改めること	229人	39.1%
男性中心の組織のあり方を改めること	269人	46.0%
男女がほぼ同数、あるいは一定数下回らないよう、性別による定員基準を設けること	132人	22.6%
女性自身が積極的に参画しようとする	236人	40.3%
女性の持っている能力を開発するための機会を設けること	187人	32.0%
女性が活躍する団体やグループ活動を支援すること	78人	13.3%
その他	30人	5.1%
女性が進出する必要はない	4人	0.7%
無回答・回答過多	45人	7.7%

■その他への記入事項

- 賃金格差をなくす
- 進出しやすい環境作り
- 男女問わず、お互いを尊重し合うこと（実際に、そこまで多くの女性が進出したいのか疑問）
- 女性側の意識が変わらないと進出しようと思う人自体が少数なのではないか
- 個人、個性を尊重し、男女以外の属性についての差別も含めてなくす
- 女性ばかり優遇するのはちがうと思うのであくまでも公平に。能力ある人間が認められ進出できるように。「男が育児、介護で休みすぎ」と思われたりすることもあるので、周辺の理解と一言で言っても多様なので、細かく改めるべき
- 女性だから、男性だからという理由ではなく、能力のある人材が活躍できればいいと思う
- 男女である以上、どうしても平等にならないこと(女性が出産する、筋力の差がある等)を理解した上で平等について考えるべき。何でもかんでも平等を唱えても男性にとっても女性にとっても良くなることはなく、政治の場、職場、家庭等で男女による争いが増え解決しないと思う
- オブザーバー的に女性が参加し、男性がしっかりとそこに耳を傾けれるようになれば良いと思う
- 男性が、女性がという視点以上に誰でも平等だという思いをみんなが持つことや、男女のそれぞれの強みを活かした社会づくりが大事なのではと思う
- 選択的夫婦別姓の導入

【問30】男女共同参画社会の実現のために行政が力を入れるべきことはどのようなことだと思いますか。
 あてはまるものを5つまで選んでください。

「男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う」が60.3%で最も多くなっており、これに「保育所や児童クラブなどの施設や育児サービス、制度の充実を図る」が続いています。

選択肢	回答数	割合
男女が共に家庭と仕事を両立できるような労働環境の整備を行う	353人	60.3%
保育所や児童クラブなどの施設や育児サービス、制度の充実を図る	237人	40.5%
高齢者や障害者に対する施設・介護支援などの福祉政策を充実する	208人	35.6%
女性を政策や方針決定の場に積極的に登用する	85人	14.5%
女性の就労の機会を増やしたり、職業教育や訓練を充実する	102人	17.4%
職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う	119人	20.3%
法律や制度の面での見直しを行う	146人	25.0%
教育の場で男女の平等と相互理解や協力についての学習を充実する	115人	19.7%
相談事業を充実させる	32人	5.5%
男女が地域活動に参画しやすい環境整備を行う	69人	11.8%
各専門機関の連携によるドメスティック・バイオレンス（DV）の被害者の救済システムを整備する	35人	6.0%
シェルター（DV被害者の救済場所）を設置する	56人	9.6%
女性団体や女性のリーダーを養成する	38人	6.5%
女性の生き方に関する情報提供や交流の場等のセンターを充実する	19人	3.2%
広報紙やパンフレットなどによる啓発を行う	14人	2.4%
男女平等、男女共同参画に関する講演会や講座などの学習機会を増やす	34人	5.8%
男性を対象とした家事や育児などの講座、教室などを充実する	77人	13.2%
介護サービス制度を充実する	129人	22.1%
各国の女性との交流や情報提供など国際交流を推進する	17人	2.9%
その他	17人	2.9%
特になし	14人	2.4%
無回答・回答過多	46人	7.9%

■その他への記入事項

- ・子育て、少子化対策
- ・女性若者、起業支援強化
- ・昔ながらの考え方を変えること
- ・家事も仕事と考えるなら、地域交流の場を作ったり、趣味の活動する場の充実や、保育施設や援助が必要だと思う
- ・男女以外の属性も含めて、否定せず尊重できるような取組
- ・わからない

その他

【問31】男女共同参画についての考えやご意見

■男性や女性、社会等の意識に関すること（37件）

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内で、女性の仕事と認識されていること、「食事の用意」「片付け」「そうじ」等があり、時代と共に改善されてきつつあるが、まだ共働きであっても、女性が家庭で行う仕事が多い。これからの夫婦は家事を平等に行えるよう教育が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供の出産を機に専業主婦という立場になりました。主人の実家での生活でしたので、義父は仕事をしていない人は遊んでいる人間扱いをする人だったと！家のことは女がやるのはあたりまえの時代でした。
<ul style="list-style-type: none"> ・社会は家庭のあつまり。個々の家庭で家事、育児、介護、仕事を平等に分担するという考えが根づかなければ、女性はバリバリ働けないし、社会の男性中心の意識も変わらないと思う。昔から根づいてきた古い考えをどうやって変えていけるかだと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・家事、育児等による女性の負担を減らすことができれば良い。精神的負担も多くあると思うが、一番重要なのは、男性の意識を変えていくことだと感じる。
<ul style="list-style-type: none"> ・育児に対する男性の意識が改革されないと結局変わらない。特に年が上の人。
<ul style="list-style-type: none"> ・職場は男女平等と感じるが、それ以外の特に町内会は男性役員ばかりで参加しにくい環境だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・全国に先がけて稚内市で積極的に取りくんでほしいです。意識を変えるような教育をしてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・内容は理解出来たが、このアンケートの内容の一部に女性だけに特化した設問がある。特に、人権問題や、DVIは、男性から女性だけでなく逆のパターンもあることを忘れて頂きたい。男女の格差を無くすという考えの部分は同意します。
<ul style="list-style-type: none"> ・男は男として、女は女として社会生活を送り互いに行えることを行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・「家事は女性がしてあたりまえ」という男性の意識を変えてもらえるような、講演会や啓発などを行ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・あまりやりすぎると男性差別になる。ほどほどにするべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等と女性優遇を混同しないこと。主夫への差別、男性の育休のとり難さ、男性がうけるDV、セクハラ被害等への配慮。経済状況が許すなら家庭内で過ごしたい女性も多いので、望まない女性にまで社会進出を押し付けないこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・50代後半～60代、70代、この年代が企業、団体のトップにいるかぎり、男女平等、夫婦平等は変わらない。「男は家庭より仕事を優先させろ、家は妻が守れ」など考え方が偏っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・女性が家事全て担う等、家を守るべき等の考えの人がまだ沢山いるので、家事は分担との考えへ、変えられるようにどうかしてもらいたい。そうしたら、女性も働きやすくなると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・男性ももっと子育てに参加するべき、それで悩んでいる女性はたくさんいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・家事、育児は女性が中心で、男性は、「お手伝い」「女性ができないときに」という考え方の人は若い人でもまだ多くいると思われます。この意識を家族の中で変わらないことには女性は負担が変わらず多いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・女性の進出は重要だと思うが、極端に早めると、逆に男性冷遇にもなり得るので、その場合、男性側の反発が強まる可能性があると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在年配の人は男尊女卑の考え方で生きてきた世代だと思うので、男女平等な社会が実現するのは、今若い世代が高齢者になる数十年先の話だと思う。その間は地道に意識改革していくしかない。
<ul style="list-style-type: none"> ・女性は出産するから、男性とすべて一緒とは無理があると思うが、女性を思いやる心をもてば、色々な面で複雑に考えなくてもいいのかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内で共働きが多くなってきている中、もっと夫の家庭への協力が欲しい。同じ働いているのに！
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の事は女性がする、と言う考えの人が少なくなってほしい。高齢になっても夫婦が健康でいればお互いに助け合って生活していきたい、と思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・男が上、女が下、という考えが強い。特に年齢の高い人。この考えがなくなると、変わらない。
<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだお茶くみの慣習が強い（特に田舎）。できることは任せ、自立は男性だけが必要なことではないということを広く周知して欲しい。女性は結婚できなければ自立もできない。
<ul style="list-style-type: none"> ・男性も女性もお互いを批判するのではなく、認め合うというのが最初の一步だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重しながら働きたいですね。
<ul style="list-style-type: none"> ・男女ともに社会活動に参加できるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画だけで言えば若い人達は価値観が変わっていい方向だと思う。古い考えの老人達がブレーキをかけていると思う。女性も都合の良い時には女性をアピールし積極性に欠ける所もある。
<ul style="list-style-type: none"> ・男性目線の社会ではなく、女性目線も多く活用できる社会。お互いを思いやれる社会になればと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の悪しき慣習、年齢の高い人ほど男が上、女は下と見る。能力の差はあれど女性の得意なところをもっと認めてお互いに協力し楽しく豊かな気持ちで理解していくしかないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・家事（育児）は女性だけの仕事では無いと男性も意識してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・たとえば家事、育児、介護は手伝えるのではなく主体的にできること。
<ul style="list-style-type: none"> ・女性自身の積極的な社会進出や考え方も必要では！
<ul style="list-style-type: none"> ・育児、家事は女性がやってあたりまえと言う意識を変えてほしい。養育費を払っているとえらいと思われるのがおかしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・女性は子育て、という昔からの風習にとらわれすぎている。男性の協力体制をもっともっと進めて欲しいし、会社、社会全体で協力して欲しいし、男性の考え方も変わって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・言うは易し行うは難しの類。年取れば分かるか？女性の能力を男性が軽んじないこと大事なのか？

<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進を阻害する最大の要因は、慣習などからくる個々人の意識の問題だと考えており、そこに働きかけ、社会を変えていくことが肝要と思う。また、DVやハラスメントの問題は、必ずしも被害者が女性に限った話でもなく、男女が平等に扱われることとは別の問題として考える必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 男女平等といっても、生物学的な違いや進化の歴史上の違いはどうしても存在する。そこを認識しないと、単に平等だけを訴えるだけでは逆に偏った考え方になる危険性がある。違いがあることを受け入れた上で、男女共同参画というものを考えていく必要がある。また、女性がより社会進出できるようになるには、女性自身の意識の改革も必要。難しい課題や困難に直面した時にすぐに男性に頼ってしまうようであれば、真の意味での社会進出とは言えないし、いつまでも男女平等社会は到来しない。

■法律・就労・雇用・賃金等の制度に関すること（30件）

<ul style="list-style-type: none"> 職場での男女共同参画についての学習を増やす。
<ul style="list-style-type: none"> 稚内市に一次産業を復活させて、労働人口を増やしてほしい。同市の人口減少に歯止めをかけてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 仕事内容が性別に関係せず行える内容で力仕事が軽減されてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> まずは女性が働きやすい制度（主に育休手当や育休後の再就職など）の見直しをしないと、女性の層は増えない気がするし、その制度が充実しないと子供を産む選択をする女性が増えないと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 男女関係なく低賃金で長時間働かなければならず疲弊している。余裕のなさが男女共同参画社会を阻んでいるのでは？
<ul style="list-style-type: none"> 地元の魅力のある職場、働きたいと思う場所を作ってほしい。（人口減少につながるのをとめるため）
<ul style="list-style-type: none"> 女性が社会に進出でき環境（法整備、高齢者等の意識改革） ※デジタル社会なのに紙によるアンケートはどうかと思う。インターネット等によるアンケートで予算削減して、別の使い道ができないか。
<ul style="list-style-type: none"> 男性も子育てに参加できるよう教育、訓練の機会があればよいと思う。女性が被害にあう事件が多いので厳罰化など女性を守る社会にして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 女性は出産、育児などで仕事に穴をあけがちなので専業主婦にも社会的地位が欲しいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代でも働きやすい環境。移住したいと思うような町が人口を増やし、環境も良くなるのではないかとと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 主婦・夫の目線だと、パートをし、少しでもお小遣いをかせぎたい気持ちがある。幼稚園の送迎の時間の間だけでも、という気持ちがあると思うけど、なかなか見つからないし、見つけたとしても、土日祝勤務できる人など、縛りがあるので、働きたくても働けない。男女共同参画は、正社だけの話に聞こえてしまうので、パート・アルバイトをしたいけどできない人のことも視野に入れてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 男女どちらがどの仕事をしていても良い環境を。
<ul style="list-style-type: none"> 女性が働きたい、働かざるをえなくなった時のためのサポートを充実させるのがいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 女性が男性と同程度の収入が得られる様な（年金も含め）環境を整備すること。
<ul style="list-style-type: none"> 現場仕事も女性が働ける環境を作ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 職場における男女の仕事内容。女性がやることといった差別をなくしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> 女性にも賃金の安定した職場、働きやすい労働環境の構築。
<ul style="list-style-type: none"> 何にしても、女性が積極的に受け入れられる受け皿を、行政は大量に用意すべきだと思いますので頑張って下さい。期待してます。
<ul style="list-style-type: none"> 問題の根本的な理由は、男女で分けられるものではなく、市民の意見、国民の意見が反映されない社会構造です。これだけネット環境や通信手段が充実しているにもかかわらず、意見を言わない人には聞きもしないのは日本人の性格上なにもかわることは無いと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 企業によって女性事務員の採用をしてない所がある。（女性の能力を過小評価）
<ul style="list-style-type: none"> 稚内市で育児が終わり働こうとしても年齢などにもより、パート時間を増やすことは出来ても、社員で働く場が少なく、賃金が低いところや副業で稼ぐしかない。年金をもらうまでも不安、年金をもらっても金銭面での不安がある。育児が終わった後に安定した職につけるような環境になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 職場での、働きやすい協力や理解が必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 女性が活躍している職場は稚内では一部だけ。もっと弱い立場の人間や女性に寄りそった政治をしてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 出産後再就職できる会社が増えてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 女性の賃金が低い。女性が自立して生活したり子どもを十分に育てられるような賃金がもらえる社会にして欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 女性の労働力を理解していない経営者をどうにかするべき。学習機会を増やすのは経営者だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 働く側がもっと労働時間帯や時間数など選べる働きやすい環境になっていけば、小さい子のいる家庭の人でも働きやすい社会になるのではないかとと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 女性が子育てをするという考え方をやめた方がいい。男性も積極的に子育てをできるように会社で育児休暇や有給を取りやすい環境にすべきだ。
<ul style="list-style-type: none"> 日本全体で、女性が不利な立場にあるという認識が不十分だと感じる（非正規や低賃金の仕事しか得られない女性の多さ、性犯罪や暴力の加害者／被害者の男女比、公共空間で性的なイラストが表現の自由として看過されている状況など）。また、これらの問題が解消されないまま性自認で性別区分を越えること（男性が女性を自認して女性スペースに入る等）には反対。 稚内市においては、雇用や賃金面で女性が自立して働くことが難しく、未婚の成人女性が地域に留まれない、男性が家事育児に参加しない一因となっているのではないかと。女性の社会参加＝子育て支援とされがちだが、妊娠出産はともかく子育て（保育）は女性だけの問題ではない。女性と子育てをセットにする発想はむしろ育児の問題を女性だけに押し付けているように思える。男性が家事育児に参加しない（できない）のはなぜかという方向から模索したほうが良い。

- 国連加盟国の中で、夫婦同姓が義務化されているのは日本だけであると耳にしたことがあります。男女共同参画に向けて、この状況を改善し、選択的夫婦別姓を導入することは絶対に必要です。強制的に夫婦同姓にしなければいけない結果、過半数を超える夫婦は女性が名字を変更しています。このことは、女性のキャリア形成において確実にマイナスに働いていると私は考えます。あくまでも「選択的」であるのにも関わらず、この政策に反対する人がいる以上この国が男女平等になることはないと思います。

■個の尊重に関すること（27件）

<ul style="list-style-type: none"> • 男女関係なく、能力に見合う事を行えば、そもそも男女共同参画という考えは不要と考えます。
<ul style="list-style-type: none"> • あえて「女性の活躍」と女性を強調しなくともそれぞれの性別の特性に合った役割があると思う。身体能力や個々の特性で判断すべきだと考えます。
<ul style="list-style-type: none"> • 男女共同参画とわざわざ銘を打つ必要がなくなるように、格差がなくなることを望みます。
<ul style="list-style-type: none"> • 男女という枠組みにとらわれず、個々人が社会的に役割を果たしていける社会を築いていけたらよいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> • 女性と男性は、そもそも得意な分野があるはず。なんでもいっしょにできると考えず、お互いができることを尊重するのが良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> • 自分も女ですが、根本的に体のつくりや気持ちが違うのに男女平等にはならないと思っています。やはり男性より女性の方が出来ないことが多いので仕方ない事だと思い、深く男女平等を意識したことはありません。
<ul style="list-style-type: none"> • 男女という区別が必要ない社会にする為に個人の人権を尊重できる社会を目指して頂きたい。
<ul style="list-style-type: none"> • 遺伝的に男は狩り、女は採集の為、身体の作りも異なると思っています。何もかも平等となると、力仕事も女性にやらせるのかという話にもなってくる。基本は、男が稼ぎ、女が家庭を守ればベストと思っているが、経済的理由や働きたい女性ももちろんいるだろうから様々な意見があってよいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> • これからどんどん男、女の差を持たない多様性の時代になっていく過程にあると思う。
<ul style="list-style-type: none"> • 性別に関係なく、生まれた時から死ぬまでお互いに人権を尊重できる社会に向けて、一つでもよりよい環境整備を行ってもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> • 男性が家庭と仕事を両立できるようにしなければ、女性も両立できない。性別にかかわらず、くらしやすい環境にすれば良い。
<ul style="list-style-type: none"> • 男・女とできることやできないことがあると思うが、お互いに協力しながら生活できる社会になってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> • 男女共同参画という言葉を使わなくても良い、世の中になって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> • 必ずしも男女の均等な扱いをする必要はない。区別をし、必要な人材を適切に運用できる社会形成が重要である。
<ul style="list-style-type: none"> • 元々男と女は平等では無い（出産等）ので、全てにおいて男女共同にとらわれない方が良いと思う事もある。
<ul style="list-style-type: none"> • 男女すべてにおいて平等は難しいと思うが、互いを尊重し合える社会になっていけたらと思います。
<ul style="list-style-type: none"> • 性別を性差としてではなく特性として捉え、個人の能力や生き方に応じた就職や生活ができるようになって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> • 生物的に男女の違いがある中で平等に扱おうとすることは大変なことだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> • 「男女共同参画」という言葉自体を、使うことが無くなれば良いですね。男だから女だから、という考えがなくなれば（ジェンダー含め）不必要な言葉ですから…。
<ul style="list-style-type: none"> • 男女共同参画という言葉自体古いです！このアンケートをはじめ、計画改定や委員会の改選などあまり意味がないかと！男女で分けるのではなく「個の尊重」という形で、他の計画などと統一してしまい、ムダをなくし整理すべきだと思います。役所は縦割すぎます。部署の壁をこえ、よりスタイリッシュに！
<ul style="list-style-type: none"> • 全てが男女平等ということではなく、互いの特性を尊重し人様の平等を重視すべきと考える。
<ul style="list-style-type: none"> • 個人の選択でいいでしょう。女性のできない仕事もまだまだあります。女性に力仕事を男と同じにできますか？そんな職場には女性は進出しないと思うので平等にはならないでしょう。なので女性の出来る仕事を女性が選択してやればいいだけの話です。今までと同じだと思います。男の職場に入るなら女だからという言い訳はしないで欲しいです。
<ul style="list-style-type: none"> • 男とか女とか関係なく、自分がやりたいことを、やりたい時にやれば良い。男女はあまり関係ない。料理できないからしれないと男は言えるが、〇〇できないからと女は言えない。考え方も違う。できることも違う。違いを理解してから男女の話だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> • どうしても平等にならないことを理解した上で、平等を考えるべきだと思う。例えば、個人差はあると思うが、力仕事を男性と同じように女性が出来るとは考えにくい。男性が妊娠出産することはできないなど、どうやっても性別によって変えられないことまで不平等だとすることは互いの不満を大きくするだけであると思う。なので、男性も女性もそこを理解した上で平等にするべきところを話し合う方がいい。
<ul style="list-style-type: none"> • 平等を画一的に定義するのは無理なことだと思うので、場面ごとに柔軟な対応が自然にできるような社会になると良いですね。
<ul style="list-style-type: none"> • 近年のジェンダーレス化は良いと思うが、極端なものは賛同出来ない。男性は男性、女性は女性の得意分野は存在するし、社会の役割は正直あると感じる。それを全て差別と括るのはどうかと思う。本来の男女の役割を無視した、むやみに均一化した男女平等だけに拘らず、状況によって臨機応変にお互いを認め、尊重し合える事が出来る社会になればと思う。
<ul style="list-style-type: none"> • 平等はもちろん大事だが過剰に意識しすぎるのも良くない。お前たちの上の質問だと女性が女性が一と偏りすぎではないか。そう過剰になると次は男性が一と始まりLGBTはどうなるんだ。とまた始まるんだよ。みんな平等それでいい。

■教育・子育て支援に関すること（19件）

<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯だが保育所が少なすぎます。
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画よりも、少子化にもっと目を向けるべき。少子化をうながすような男女共同参画には賛同できない。
<ul style="list-style-type: none"> 男社会が強い。共同参画を子供のうちに教えていくべき。すぐには無理だと思う。しかし子どもたちが成長していくうちに少しずつ変われば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 子育て、介護等女性の係わりを小さくする社会の形成。
<ul style="list-style-type: none"> 片親でも、生活がなりたつ支援。1、食事 2、子供のあずかり 3、親のない子の支援
<ul style="list-style-type: none"> 男女が家庭を持って、子育てしたくなるような社会にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 保育所等の施設をもっと充実してもらいたい。女性の昼間の職業を充実してもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> 子どもを預ける環境の整備・ごはんを作ることを助ける環境の整備。
<ul style="list-style-type: none"> 昭和を生きて来た人には、なかなか受け入れられないと思う。それを見て育った子供も同じになる可能性があると思う。もっと学校やいろんな場所で学習機会を増やしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの生活があり共同参画になるといろいろな方面で見直しが必要になるのではないかと。学歴社会などの見直しもしてほしいと思います。同じことをして働いても学歴によって給料に差がつくなど。
<ul style="list-style-type: none"> 30年以上、不規則勤務、夜勤をしながら働いています。2人の子育てが大変でした。不規則勤務では、保育所では、間に合いません。子育て中、保育所に預け、土・日・祝日休みにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> この様な市からのアンケートを何度か書きましたが変化なしですね。保育所など先生方は、今の子供達は発達が遅く落ち着きなく受け入れも大変だと思います。子供がいると男女平等は難しい。職場の給料はそれぞれですが、生活保護をもらっている家族の方が高く、働いているのがバカらしくなる。女性一人で子育てや苦しい生活の方はしっかり福祉を受けられる様にしてほしい。私の親はとて保健師さんに良くしてもらい感謝しています。
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画というと、女性への支援ばかり取り上げられがちだが、男性の育児参加への周囲の意識等、男性への支援が必要な場面も少なからずあるため、バランスの取れた対策が必要と考える。
<ul style="list-style-type: none"> 出産で仕事をやめ、再就職しづらい。当日急に子供を預けられるような施設がほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 人生100年と言う時代になっています。未来の子供達が安心して住める稚内にしてほしいです。
<ul style="list-style-type: none"> 講演や講座、教育なども大切かもしれないですね。法律や制度などで対策した方がいいなとは思いますが、具体的に制度を決めるのは難しいですね。政治がもっと国民を向いてくれたらいいですが…。
<ul style="list-style-type: none"> この調査によって、少なくとも改善できることを。そうしてこの市が男女共同参画が良くなるようにしていただきたい。子供の為の公園等希望したい。
<ul style="list-style-type: none"> 出産・子育て・介護に対するサービス、制度の充実を希望します。女性の負担になることが、ほとんどです。
<ul style="list-style-type: none"> 出産、子育て、介護など女性の方の負担がまだ多く、孤立した子育て、介護などをなくす。男女共同参画と何年も前から言っているが、何も変わらない社会。家庭では夫中心、社会では男性優位、昭和生まれの私はこう考えてしまう。

■その他（23件）

<ul style="list-style-type: none"> 積極的に取り組んで欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> それより女性が出産したら1人1000万にしてほしい。生まれた子からは死ぬまで税金で回収できるから。
<ul style="list-style-type: none"> 10年後、20年後を見据え、未来に投資するために税金を使ってほしい。これからはもっと厳しい社会になっていくと思うのでリーダー（政治家）は目の前の選挙や保身に目を向けないでほしい。皆が安心して暮らせる社会を目指してください。
<ul style="list-style-type: none"> 昔のように子どもから老人まで命を大切に自分の欲に命をとったり、自ら命をおとしたりしない社会にしてほしいです。稚内を住みよい街にしてください。
<ul style="list-style-type: none"> 希望が持てる社会にしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> 一部の女性以外は、積極性に欠けるのでは？
<ul style="list-style-type: none"> 質問が長すぎ・多すぎ。（用紙）
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画が稚内市の目指す事と広めたい。会社が受けとめても、お客様からの目が変わらないと思う。色々なイベントで考えを広めていきましょう。
<ul style="list-style-type: none"> 行政として男女共同参画より、優先して取り組むべき課題ある。少子化対策が、優先課題であると思う。縦割りによりすべての取組みを実施するのではなく、国にとって今何が危機的状態であるかを把握して、優先して取り組むべき課題に集中してやるべきだ。
<ul style="list-style-type: none"> 稚内市では、それほど差別を感じていません。
<ul style="list-style-type: none"> 結婚後の名前を自由に選べるように。
<ul style="list-style-type: none"> 病気や何かしらの障害を学校、職場に（上司）に公表する程度がわからないし、伝える意味はあるのか。男女で伝えにくいのがある。全体に広まるのかどうなのか。理解されるのかも不安。働く意欲低下につながるおそれあり。
<ul style="list-style-type: none"> 冬の除雪車が来た時の家、道路の雪出し対応が家に居る者（特に女性）になっている為、体力に負担がかかる。スマホアプリや地元ラジオ等で現在どこで除雪車が作業しているか予定時間等がわかれば、対応できる人は応援できるかもしれないという考え。
<ul style="list-style-type: none"> そもそも意思を持つ自覚を意識する能力が不足がちです。
<ul style="list-style-type: none"> 妊婦の検診、陣痛や出産時の車のサポート。

・若い人たちの声、本音を良く聞いて、今後に活かして下さい。
・本当に支援が必要な人に支援が届く仕組みになればいい。
・都市部からの移住者を増やすと、もっと風通しがよくなるように思います。
・男女の比率ありきだと無能でも使わなくてはならなくなる。そもそも男性と女性で向き不向きがある。
・日本人に送るべき。外国人には関係ない。
・仕事にしても家庭にしても、お互いが協力しあえば、よいと思うが、男女関係なく真面目に働くほうが疲れてしまっているなと思う。
・今まで考えた事がなかったので、いい機会になりました。
・稚内市主催の気楽に参加できる無料の食事会などを開いて意見交換の市民の場をつくるのも良いかと思います。